



学校だより

高岡市立こまどり支援学校

令和元年 5月14日

令和の時代を生き抜く子供たちのために

校長 佐野 正人

暖かい春風とともに桜が咲き、その後バトンを引き継ぐように、水仙の花、菖蒲の花等が次々と咲き、現在は彩り鮮やかなパンジーが大きく育ち、私たちの目を楽しませてくれます。こまどりは、様々な花や木々に満ちあふれています。まぶしい日差し、さわやかな風とともに、この季節が一番すがすがしい気持ちにさせてくれます。

本校では今年度、小学部に2名、中学部に4名の新入生、小学部に1名の転入生を迎え、計27名で61年目のスタート、そして、令和元年のスタートを切りました。児童生徒、教職員ともに新鮮な気持ちで学校生活を過ごしています。

ある日の低学年の教室、低学年同士の共同学習での出来事。

春の陽気のせいか、登校後もなかなか覚醒が上がらず、目を閉じようとしていたAさん。担任の先生が軽快な音楽を流した瞬間、なんと、目をぱっちり開け、むくむくと起き上がりちょこんと座りました。そして、音楽のリズムに合わせて身体を揺らし、踊りながら手拍子を始めました。

先生の声かけや好きな音楽のリズムが、本人の楽しもうとする意欲につながった瞬間であり、その姿を見るにつけ、子供の主体的な学習意欲は、子供自身の中にあるものだと感じさせられました。

そんな日々の成長を確かめることができる学校づくりを目指すために、本校では、これまでの教育目標に掲げられていた「明るく なかよく がんばる子」を不易なものとして校訓とし、目標については今年度変更しないものの、今後の児童生徒の実態の変化や、幼保・小・中・高・社会との継続した教育・連携、共生社会の一員として社会参加する力、身に付けさせるべき資質・能力の三本柱等に応じて変更できるものとししました。

そして、本年度の重点目標は、本校のキャリア発達において育てたい「こまどり版4つの力（健康を保持する力・見聞きし、考える力・見通し、課題をもつ力・集団の中で生きる力）」や、学習指導要領で求められている育成すべき資質・能力との関連を図り、

○健康な毎日を送り、自分のやりたいことを見つけたり、自己選択したりできる力を育てる。

○自分なりの表現方法を身に付け、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる力を育てる。

としました。重点目標達成に向け教職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

また、これまで深めてきた小学校、中学校、地域、関係機関との交流を、これまで以上に温め、インクルーシブ教育の推進と共生社会への実現にも目を向けていくことが本校に課せられた課題でもあります。

これまで交流を続けていただいている学校、そして新たに交流をお願いする学校におかれましては、交流することにより、自校の児童生徒が心豊かに成長することができる機会と前向きに捉えていただき、令和の時代を共に生き抜く仲間としての意識を高める教育の推進にご協力願ひたいと思ひます。

